

Association between Telomere-Related Polymorphisms and the Risk of IPF and COPD as a Precursor Lesion of Lung Cancer: Findings from the Fukuoka Tobacco-Related Lung Disease

有村, 雅子

<https://hdl.handle.net/2324/4110438>

出版情報 : 九州大学, 2020, 博士 (医学), 課程博士

バージョン :

権利関係 : This work is licensed under a Creative Commons Attribution Non Commercial 4.0 International License.

氏 名：有村 雅子

論 文 名：

Association between Telomere-Related Polymorphisms and the Risk of IPF and COPD as a Precursor Lesion of Lung Cancer: Findings from the Fukuoka Tobacco-Related Lung Disease (FOLD) Registry

(和訳 テロメア関連遺伝子多型と肺がんの前駆病変としての IPF および COPD リスクとの関連性:福岡たばこ関連肺疾患(FOLD)登録からの知見)

区 分：甲

論 文 内 容 の 要 旨

特発性肺線維症 (IPF) や慢性閉塞性肺疾患 (COPD) を併存する肺がんは予後不良である。テロメア関連遺伝子多型はこの 3 つの疾患の病因に関与している可能性がある。IPF あるいは COPD を介した肺がん発生メカニズムを解明することは IPF あるいは COPD 併存肺がんの早期発見・早期治療を可能にするため、まずテロメア関連遺伝子多型と IPF および COPD のリスクの関連性を症例対照研究において検討した。我々の現在進行中のコホート研究から得られた IPF (155 人) または COPD (417 人) の合計 572 人の患者と、我々の過去に行った症例対照研究から得られた対照 (379 人) を本研究の対象者とした。TaqMan 蛍光プローブを用いたリアルタイム PCR により、テロメラーゼ逆転写酵素 (*TERT*) rs2736100、テロメラーゼ RNA 構成要素 (*TERC*) rs1881984、およびオリゴヌクレオチド/オリゴ糖結合フォールド含有 1 (*OBFC1*) rs11191865 について遺伝子型を決定した。条件なしロジスティック回帰を用いて調整オッズ比と 95%信頼区間を算出した。*TERT* rs2736100 は IPF リスクと有意に関連していた (リスクアレル数の増加は IPF リスクを有意に増加させた (傾向性 $P=0.008$))。同様に、*TERT* rs2736100 は COPD のリスクにも関連していた。3 つのリスク遺伝子型を組み合わせた場合、リスク遺伝子型の数が増加するにつれて IPF リスクが増加した (傾向性 $P=0.003$)。 *TERT* rs2736100 は日本人集団における IPF と COPD の両方のリスクと関連していた。リスク遺伝子型の組み合わせは、IPF のリスク集団をより明確に同定するために重要である可能性がある。